

校長室だより
第2号

令和8年1月15日

千葉市立星久喜中学校
校長後藤健次

令和8年の初頭にあたって

2026年・令和8年がスタートしました。今年は、十干十二支では、「丙午」という年にあたります。「丙」という字は陽の火、「午」という字も陽の火を意味していて、火のエネルギーが非常に強い年、情熱や行動力、変革を象徴するそうです。この星久喜中にとって、今年はどのような年になるのでしょうか。非常に楽しみです。

星久喜中の生徒は部活動にも一生懸命に取り組んでいるお話は、今までいろいろな場面でお話をしましたが、今回は、星久喜中学校が賞状をいただいた話をご紹介します(下の写真をご参照ください)。今回の賞状は、全国納税貯蓄組合連合会からの感謝状です。星久喜中の3年生が書いている「税の作文」が、例年数多く優秀な作品であるということで、感謝状をいただきました。教頭先生が、学校を代表して、受賞式に参加しました。

何に対しても一生懸命に取り組む、星久喜中の生徒、現在、3年生は入試に向けて、そして2年生は2月初めの自然教室に向けて、そして1・2年生は3月初めの3年生を送る会に向けてがんばっています。

